

かすや漫遊ウォーク

11月4日(日) 9時30分出発 (9時受付)

秋の須恵町をウォーキングで満喫しませんか。疲れた足を「のっこらしょ」会場で癒されましょう。

月31日(水) 17時(土日を除く)
▼問合せ先
まちづくり課

0932・1153(ダイヤルイン)

0932・1151(内線346)

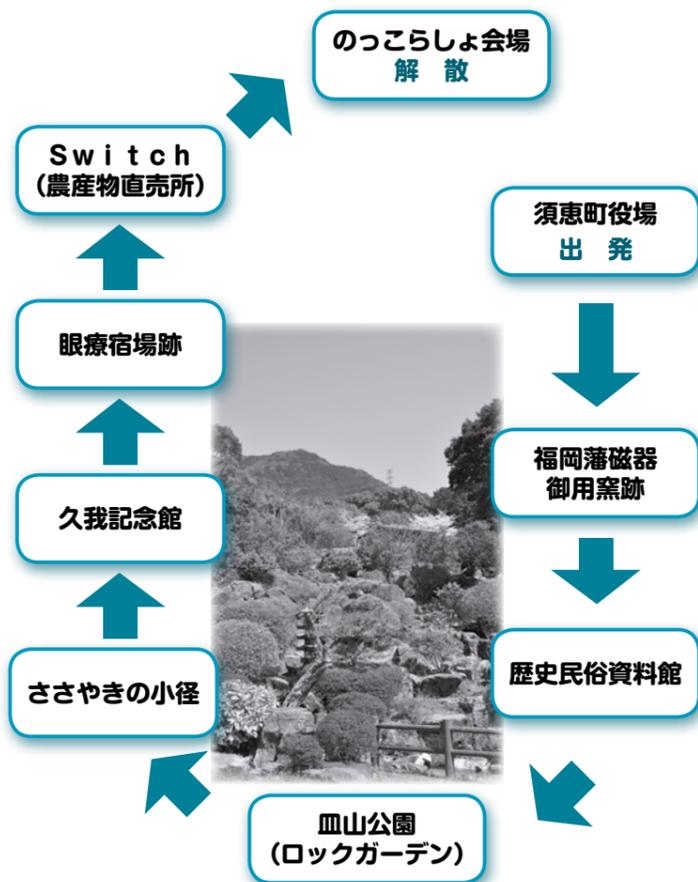
福岡県企画・地域振興部広域地域振興課

0651・1111

▼定員 先着100人
▼申込受付 10月9日(火) 9時~10時

▼集合場所 須恵町役場前
▼コース 全長約7km(左図参照)

▼参加費 無料



ぱちエンジェルオープンルーム

2000g未満でお生まれのお子さんとその保護者を対象に気軽に遊び集える場所を無料で提供します。申込みは不要で、好きな時間に利用できます。

どうぞご利用ください。

▶日時 10月~12月 (13時30分~15時30分)

▶講座

①10月19日(金) 13時30分~14時30分

「親子で発達に役立つ楽しい遊びをしよう」

保育士 松永紗也香先生

②11月16日(金) 13時30分~14時30分

「赤ちゃんの運動を伸ばす体操をしよう」

作業療法士 村上歩先生

③12月14日(金) 13時30分~14時30分

ベビーマッサージ「親子でスキンシップリラクスマッサージをしよう」今井圭子先生

▶相談 13時30分~15時30分 育児の相談をスタッフが

お受けします

▶計測 15時~15時30分 身長、体重測定を行います

▶対象 4歳未満児(2000g未満で出生した子)と保護者

▶場所 粕屋保健福祉事務所2階デイケア相談室または中会議室

▶問合せ先 福岡県粕屋保健福祉事務所健康増進係

山口・江崎 ☎939-1534

10月はマイバック キャンペーン 強化月間

マイバック(買い物袋)を持ち歩いたり、包装をシンプルにしたりして、私たち一人ひとりが普段の買い物で環境のことを考えてごみを減らしていきませんか。

●買い物際にはマイバックを持参し、不要なレジ袋の辞退に努めましょう。

●不要な包装は断りましょう。

●詰め替え商品や簡易包装商品、エコマークなどの環境配慮商品を選びましょう。

▶問合せ先 福岡県循環型社会推進課

☎643-3371



商工会だより 10月号

須恵軽トラ市

11月4日(日) 9時~13時

▼場所 須恵町商工会前駐車場
▼駐車場 健康広場(200台可)

入湯無料! 足湯温泉

福岡県内有数の温泉地から須恵町まで温泉を出前します。お買い物やウォーキングで疲れた足を温泉でゆつくりと癒してください。



野菜つめ放題!! 大抽選会
抽選会 11時開始

※野菜が無くなり次第終了
店舗で商品をご購入された人に抽選券をプレゼント。当たりが出れば、特製エコバックにお好きな野菜をつめ放題。当たらなかった人にも参加賞を用意しています。ぜひ、チャレンジしてください。

「一日公庫」(融資相談会)

開催のご案内

須恵町商工会と日本政策金融公庫では、年末の資金確保のために融資相談窓口として、次のとおり「一日公庫」を開催します。「一日公庫」では、事前に必要書類をご提出頂き、開催日当日に融資の相談から審査まで可能な限り行います。

通常のお申込みより手続きの時間が短縮されて大変便利です。

▼日時 11月9日(金) 10時~

▼場所 須恵町商工会

(須恵町上須恵1167)

▼必要書類

①借入申込書(商工会に準備しています。)

②決算書(個人は確定申告書) 2期分

③最近の試算表(決算後6か月以上経過している場合)

④法人の履歴事項全部証明書(法人のみ)

⑤お客様情報の利用に関する同意書 ※その他書類が必要となる場合があります。

▼書類提出期限 11月2日(金)

▼書類提出および問合せ先

須恵町商工会(担当: 國司、渡辺)

楽しい

考古学

46

須恵焼の文様④ 紅葉

今回は、秋の画像を紹介します。秋でまず浮かぶイメージが紅葉です。若杉山や町内各所で紅葉が楽しめます。須恵焼を展示している久我記念館も毎年、見事な紅葉が楽しめます。



写真の作品は「須恵焼染付紅葉文皿」という皿です。その形状は、木盃(もくはい)形と呼ばれており、高い高台と丸みを持った立ち上がり形の形状が独特です。江戸時代、鍋島藩で焼かれた高級磁器の「鍋島焼」に見られます。このフォルムの皿に紅葉が描かれています。

まず、皿の中央の見込部に、1枚の葉がついた小枝を描いています。立ち上がりの部分との境界に二重の圏線を配し、外側には、4枚の葉がついた小枝と4枚の葉で構成される文様帯を4つ描いて1周させて、縁との境界に1本圏線を引いています。高台内にはカタカナの組み文字で「スエ」と書かれており、この作品が須恵焼であることを示しています。

紅葉の葉を観察すると、全体を描いていない葉があります。あたかも水の中に浸かっているかのようです。



見込部は、静かな水の中に落ちた紅葉、立ち上がりの部分は、反時計回りの方向に流れる水に落ちた紅葉をイメージします。中央の「静」と外側の「動」との対比が美しい逸品です。(啓)